

庭カフェ Kashinoki

えん どう しのぶ
遠藤 忍さんに聴く

1974年生まれの喜多方市(旧山都町)出身。夫、2人の子どもの4人家族。
昨年4月にオープンした庭カフェKashinokiを経営。
それまでの仕事から、10年来の希望であったカフェの経営という新たなステージに踏み出したその人物像に迫る。



「庭カフェ Kashinoki」
の情報等はInstagram
でチェック!!



KASHINOKI2025

お仕事について聞かせてください

昨年の4月25日にオープンした庭カフェKashinokiを経営しています。

店名のKashinokiは家族の頭文字を組み合わせたものであり、息子が考えてくれたものです。

現在の仕事を始めたきっかけを教えてください

前職は自動車ディーラーに24年勤務しましたが、人に関わる接客や新しい企画を考えることが大好きでしたので、夫や自分の両親が元氣な今、生まれ育った地元で両親の助けを得ながら、自分の可能性を試したいと思い、カフェをオープンしました。

仕事やプライベートで大切にしていることを教えてください

「自分の人生に関わってくださった方々を大切にすること」ということです。
人は一人で生きていくことはできないので、両親、家族、今までお世話になった方、新しく出会うお客様な

ど、人とのご縁に感謝し、大切にしていきたいです。

男女共同参画社会の形成が図られていないことによる苦勞を教えてください

会社員時代に育休を取得しましたが、まだ育休を取得することが当たり前でない時代でしたので、「休んでいる間に仕事がなくなってしまうのではないか?」という不安を感じたり、育休に対する理解を得られなかったりと、風当りの強さを感じ、育休を取得することに後ろめたさを感じることもありました。

男女共同参画社会づくりに向けて取り組んでいることを教えてください

お客様の中には、休日子どもをパートナーに任せ、リフレッシュにご来店される方がいます。
多くのご家庭がパートナーと協力しながら仕事や子育てをされていますので、そんな方たちにとっての癒しの場になればと考えています。

安らげる時間が明日への活力につながると思いますので、疲れた方に癒しの場所を提供していきたいです。

今後の抱負を教えてください

定年を待たずに退職し、自分の夢を叶えさせていたただいた以上、お世話になった方々へ恩返しできるような「あの時決断して良かったね」と言っていただけのように、自分自身を成長させていきたいです。

これからの社会に必要なと思われることを教えてください

一人ではできないことを、誰かに無理せず協力をお願いしながら、持続可能な社会になってほしいと思います。

誰かの我慢の上に成り立つ社会ではなく、共に手をとりながら歩んでいける社会であってほしいです。



問 企画調整課 企画調整班
(24)5209